



聯合國軍最高司令官總司令部發第三五〇號（民間情報教育部）

昭和二十一年一月九日（二十三日）

日本政府密覽書

終戰連絡中央事務局總田

高級參謀副官補 陸軍大佐

アレン

山崎

114

日本教育家ノ委員會ニ關スル件

1. 當司令部ハ二月到著ノ豫定ニテ約二十名ノ著名ナルアメリカ教育家ヨリナル教育使節團ノ派遣方ヲ要請セリ

2. 該教育使節團ハ大凡三十日ニ亘リ日本教育制度ヲ研究シ技術上ノ事項ニツキ聯合國軍最高司令官並ニ日本文部省ニ對シ助言ヲナス豫定ナリ

3. 該使節團ハ左記問題ヲ研究シソノ使命ノ完了ト共ニ最高司令官宛報告書並ニ勸告書ヲ提出スヘシ 學校その他各局下

A 「日本ニ於ケル民主主義教育」學科課程、學科課程、教科書、教師用參考書並ニ映畫、ラヂオ等ニヨル（視覚、聽覺的）補助教育等ニ關

スル獻策ヲ目的トスル研究

B 「日本ノ再教育ノ心理的部面」教育方法論、言語ノ改革、時宜ヲ失セズ且優先的ニ實施セラレヘキ教育刷新、學生生徒ノ創意ト批判的分析ノ發展並ニ教員ノ再教育等ニ關スル獻策ヲ目的トスル研究

C 「日本教育制度ノ行政的再編成」即時且廣範圍ニ亘ル行政的刷新、文部省ノ再編成並ニ地方分權ノ問題ニ關スル獻策ヲ目的トスル研究

D 「日本復興ニ於ケル高等教育」圖書館、記録保管所、學術研究所、博物館等ノ高等教育ニ於ケル利用、學生生徒並ニ教職員ノ自田、社會科學ノ再出發並ニ社會生活、國家生活ニ對スル一層活潑ナル參與等ニ關スル獻策ヲ目的トスル研究

4. 該使節團ハ日本文部省並ニ自治的教育機構ヲ援助スルタメ總務ニ關スル技術專門家ヲ推薦スルコトヲモ要請セララル豫定ナリ

5. 教育使節團ノ仕事ヲ容易ナラシメ且ツ使節團ノ研究ト發見ヨリ日本ノ教育制度ガ最大限ノ利益ヲ享ケンガ爲メニ左ノ提案ヲ爲ス



- A 文部省ハ使節團ニ西方スヘキ極メテ堪能ナル日本教育家ノ委員會ヲ任命スベキコト
- B 該委員會ハ十八名ヨリ少カラズ二十五名ヨリ多カラサル委員ヨリ編成セラルルコト
- C 該委員會ノ委員選擇ニ當リテハ該委員ガ第三項ニ示セル諸問題ノ研究ニ使節團ヲ援助シ得ル資格ヲ有スベキコトヲ特ニ留意シテ選擇スベキコト
- D 委員會ノ委員資格ハ(一)教授及ビ教育行政ノ各分野ト(二)夫々其リタル程度ト種類ノ各教育機關ヲ代表スベキコト
- E 該委員會ノ委員ニ擬セラレタル教育家ノ氏名ハ第三項ニ記載セル諸問題ノ研究割當決定ト共ニ本年一月二十日迄ニ民間情報部教育班ニ提出スベキコト
- F 該委員候補者ノ氏名ニハソノ年齢、教育的背景、過去現在ノ地位及ビ若アラバ著述専門知識ノ會得タル資格ノ有無、學位其ノ他ノ榮譽的稱號及ビ使節團ニ興味アルベキ諸事項ヲ添付スベキコト
- G 該委員會ハ司令部及ビ文部省ガ使節團ノ目的及ビ委員會ニ望ム助力ノ種類ニツキ説示スルニ充分尙ニ合フ様任命招集スベキコト
- H 該委員會ハ將來必要ト考ヘラルル實業界職能界ヨリ選出セラルベキ委員ヲ凡ヘテ日本教育ノ革新ニツキ文部省ニ建言スベキ常任委員會タルベキコト
- I 委員會ハ使節團ノ過去後第三項ニ記述セル問題ノ研究ヲ繼續シ文部省ハ民間情報部教育班ニ對シテ研究ノ結果並ニ獻策ニツキ定期報告ヲナスベキコト